

2024年4月19日

本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目 23 番 5 号
 J P R 千 駄 ヶ 谷 ビ ル
 上場会社名 株式会社サニーサイドアップグループ
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 次 原 悦 子
 (コード番号：2180)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 部 長 大 竹 貴 也
 電 話 番 号 03-6894-3232

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、当社の現状を分析・評価し、その改善に向けた今後の方針を下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析・評価

(1) 資本コストを上回る資本収益性の達成

当社は、2020年1月の持株会社体制への移行後、低収益事業の見直しを図るなど、事業ポートフォリオの改善を通じて、経営の効率化に取り組んでまいりました。コロナ禍においてROEが一時的に低下したものの、PRを中心とするコミュニケーションサービスの伸長もあり、2022年6月期以降、資本コストを上回る資本収益性を達成しております。(添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」P2参照)

主要経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
売上高	13,537	14,627	14,094	15,356	16,190	18,956
営業利益	355	610	420	519	767	1,296
経常利益	365	718	275	666	1,284	1,335
親会社株主に帰属する当期純利益 (△当期純損失)	380	493	△210	298	581	884
1株当たり純資産 (円)	120.72	153.13	135.17	151.30	178.92	238.78
1株当たり当期純利益 (△当期純損失) (円)	25.85	33.42	△13.97	19.83	38.58	59.28
1株当たり配当額 (円)	10.00	10.00	2.00	6.00	12.00	15.00
期末株価 (円)	502	1,097	741	743	669	673
PBR (倍)	4.2	7.2	5.5	4.9	3.7	2.8
PER (倍)	19.4	32.8	—	37.5	17.3	11.4
ROE	23.5%	24.2%	—	13.8%	23.4%	28.3%

注：1. 2019年7月11日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2018年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たりの指標を算定しております。

2. PBRは期末株価÷1株当たり純資産、PERは期末株価÷1株当たり当期純利益(実績)で算出しております。

(2) 市場評価の獲得に課題

PBRは1倍超を維持しておりますが、業績回復局面でPERが低位にとどまるなど、成長可能性に対する期待感が醸成できておらず、市場評価の獲得を課題として認識しております。

(3) 資本コストに一層の改善余地

通期業績は順調に改善してきたものの、四半期の業績変動により株価が大きく動き、時価総額が持続的に増加していない状況を鑑みると、予測精度の向上や投資家の業績予想に必要な情報開示に課題があり、資本コストのうち、リスクプレミアムの縮小に改善余地があると考えています。(添付資料 P5 参照)

2. 対応方針

当社は、2023年5月に公表した中長期経営方針の着実な遂行を通じて、資本収益性を更に向上することを前提に、効果的なIR活動を推進し、市場評価の獲得と資本コストの改善に取り組んでまいります。

(1) 資本収益性の更なる向上

① 収益力の向上

経営指標として掲げる2026年6月期連結営業利益20億円の達成に向けて、2024年6月期からの3か年は「ブランドコミュニケーション事業」と再定義したコア事業を中心に成長を図ります。成長ターゲットとして、同事業の売上成長率を年平均13%、営業利益率を16%程度と設定し、収益力を向上してまいります。

② 成長への戦略投資

2024年6月期から3か年の戦略投資枠として15億円を設定し、テクノロジー投資8億円、人材投資5億円、DX業務投資2億円を行います。

③ 株主還元

上記の成長投資など、積極的な事業展開のための内部留保の充実及び健全な財務体質の維持等を勘案した上で、配当性向30%程度を意識した安定的な配当を実施します。なお、収益目標の早期達成が見込める場合、還元充実を検討いたします。

(2) 市場評価の獲得

当社のIR活動は、流動性の向上に向けて、認知度を高める施策を中心に進めてまいりましたが、同施策を継続しつつ、業績推移の背景や中長期経営方針の進捗の把握に繋がるKPIなど、開示の充実を図り、成長可能性に対する期待感の醸成に繋げてまいります。

(3) 資本コストの改善

投資家の予測可能性を向上させることで、資本コストのうち、リスクプレミアムの縮小し、当社経営への信頼感の獲得を図ってまいります。その実現に向けて、中長期経営方針の着実な遂行及び業績予想の精度向上により、資本市場との適切かつ効果的なコミュニケーションに努めてまいります。

※詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以上

(本件に関するお問合せ先)

株式会社サニーサイドアップグループ 経営管理部 経営管理グループ TEL 03-6894-2241



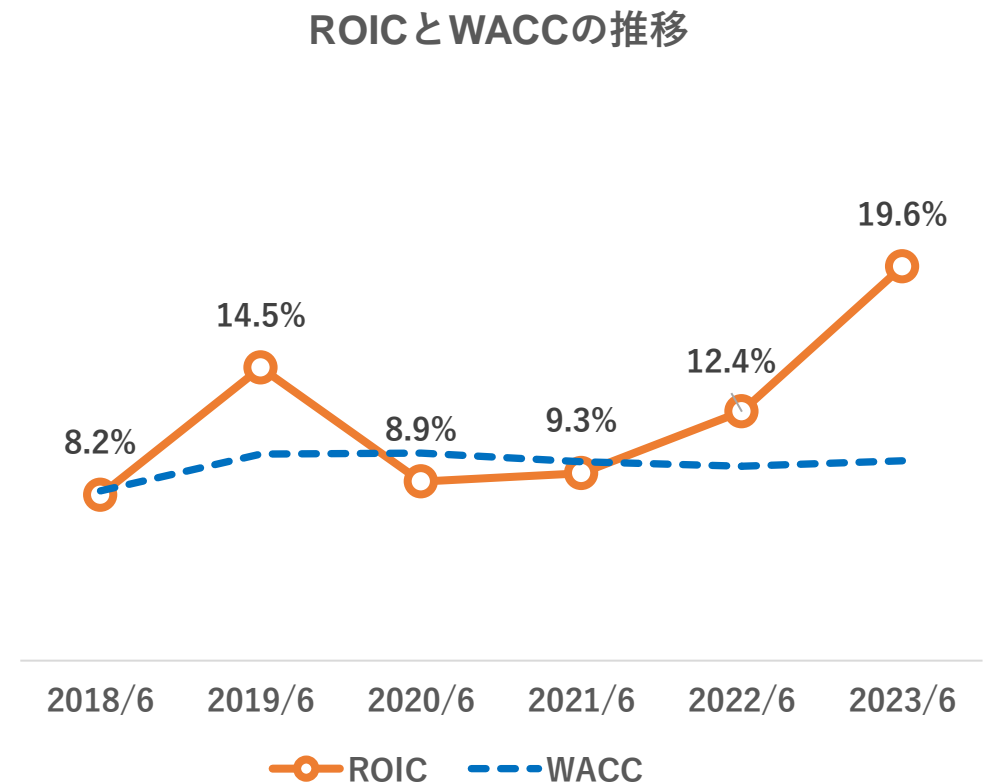
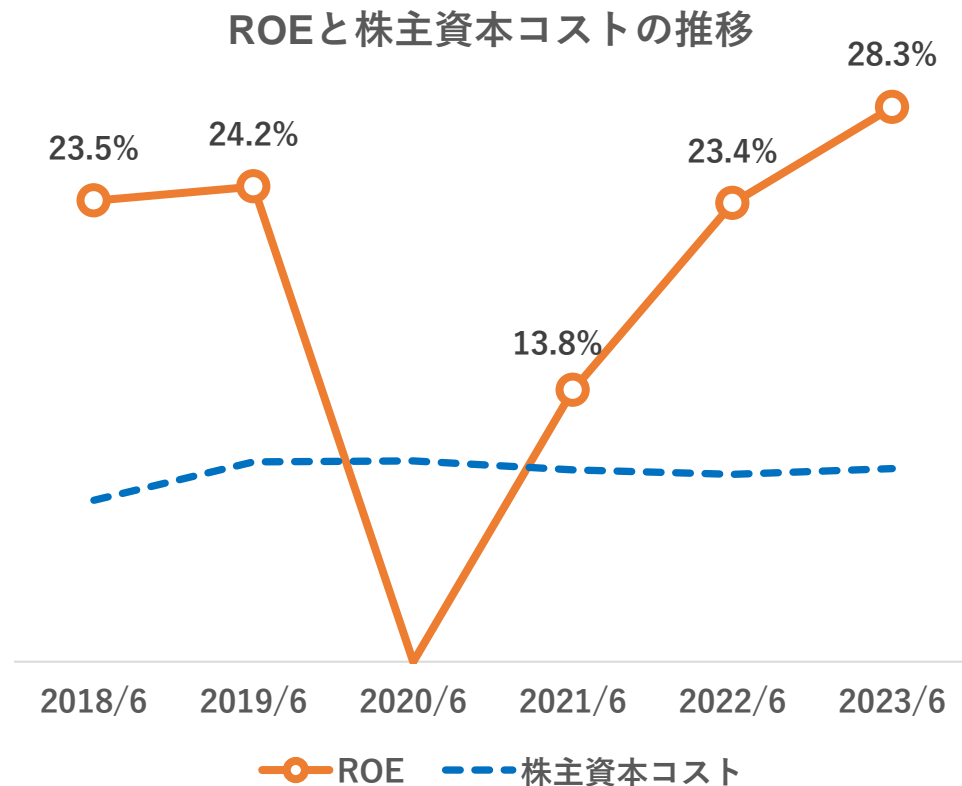
株式会社サニーサイドアップグループ

資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応について

2024年4月19日

① 資本収益性と資本コストの比較

- ROEはコロナ禍による影響で一時的に低下したものの、2021年6月期以降はROICともに改善PRの伸長に伴う利益改善に加えて、事業ポートフォリオの改善が寄与
- 直近2期のROE、ROICは資本コストを上回る水準を達成



注： ROICはNOPAT（営業利益 × (1 - 法定実効税率)） ÷ (有利子負債 + 株主資本、期中平均) で算出

① 資本収益性の改善要因

- 2020年6月期以降、事業ポートフォリオの改善に向けて、持株会社体制下で低収益事業の改革を推進
- 2023年5月に中長期経営方針を策定、成長への事業ポートフォリオを定め、コア事業を統合・強化

事業ポートフォリオの改善施策	
2020年1月	持株会社体制へ移行
2022年6月	SUNNY SIDE UP INTERNATIONAL, INCを清算
2022年7月	bills waikiki LLCの全出資持分を譲渡
2023年5月	中長期経営方針「成長に向けた戦略方針」策定
2023年7月	(株)アジャイルの全株式を譲渡
	(株)スクランブルを (株)サニーサイドアップに吸収合併
2023年9月	(株)ワイズインテグレーションを (株)サニーサイドアップに吸収合併

**フード
ブランディング事業**

**ビジネス
ディベロップメント事業**

**ブランド
コミュニケーション事業**
(旧マーケティング&コミュニケーション事業と旧セールスアクティベーション事業を統合)

20.0%

18.0%

16.0%

14.0%

12.0%

10.0%

8.0%

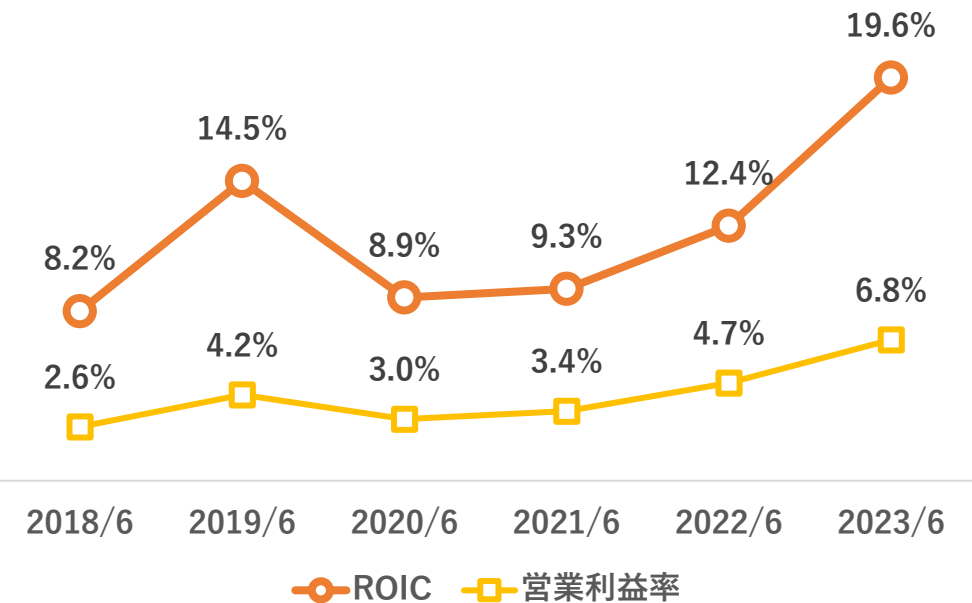
6.0%

4.0%

2.0%

0%

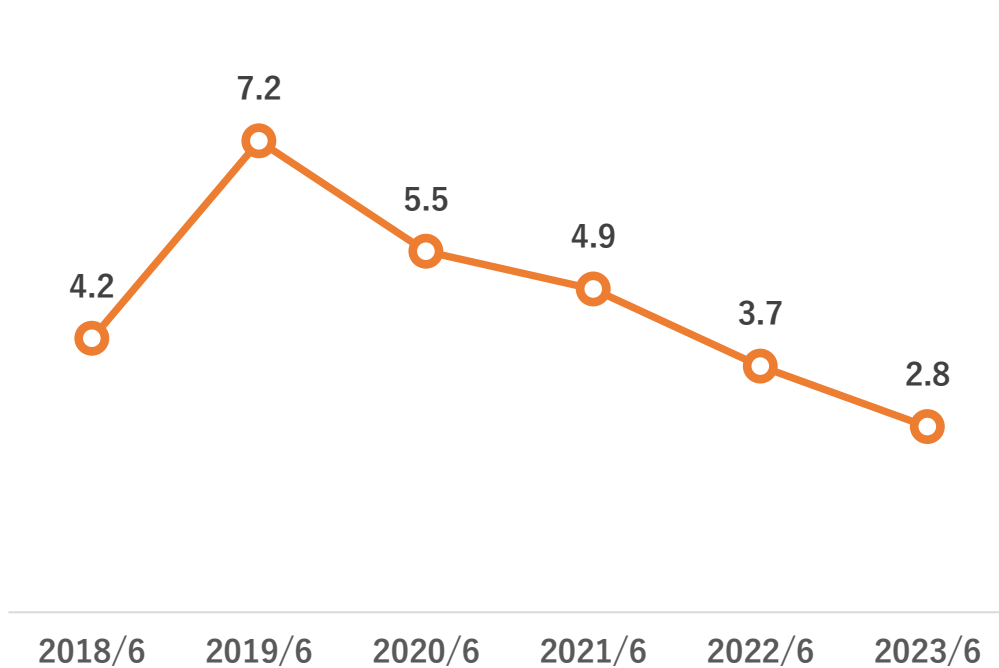
営業利益率とROICの推移



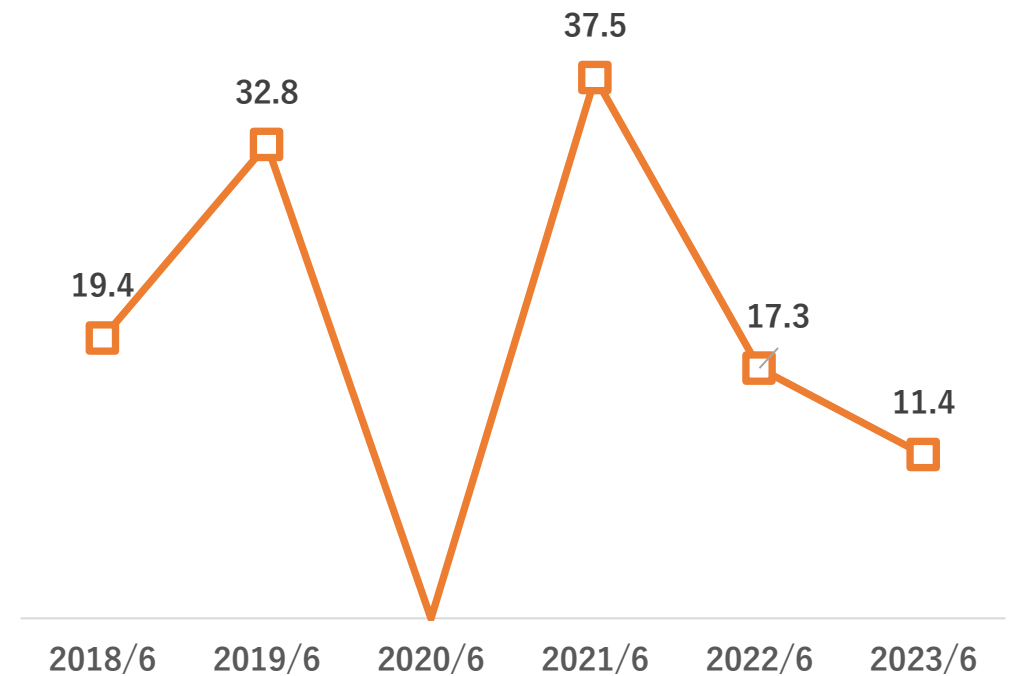
② 市場評価

- PBRは1倍超を維持するものの、PERが業績回復局面で低位にとどまる
- 市場評価の獲得に向けて、収益改善プロセスへの理解促進や成長可能性に対する期待感の醸成に課題

PBRの推移



PERの推移

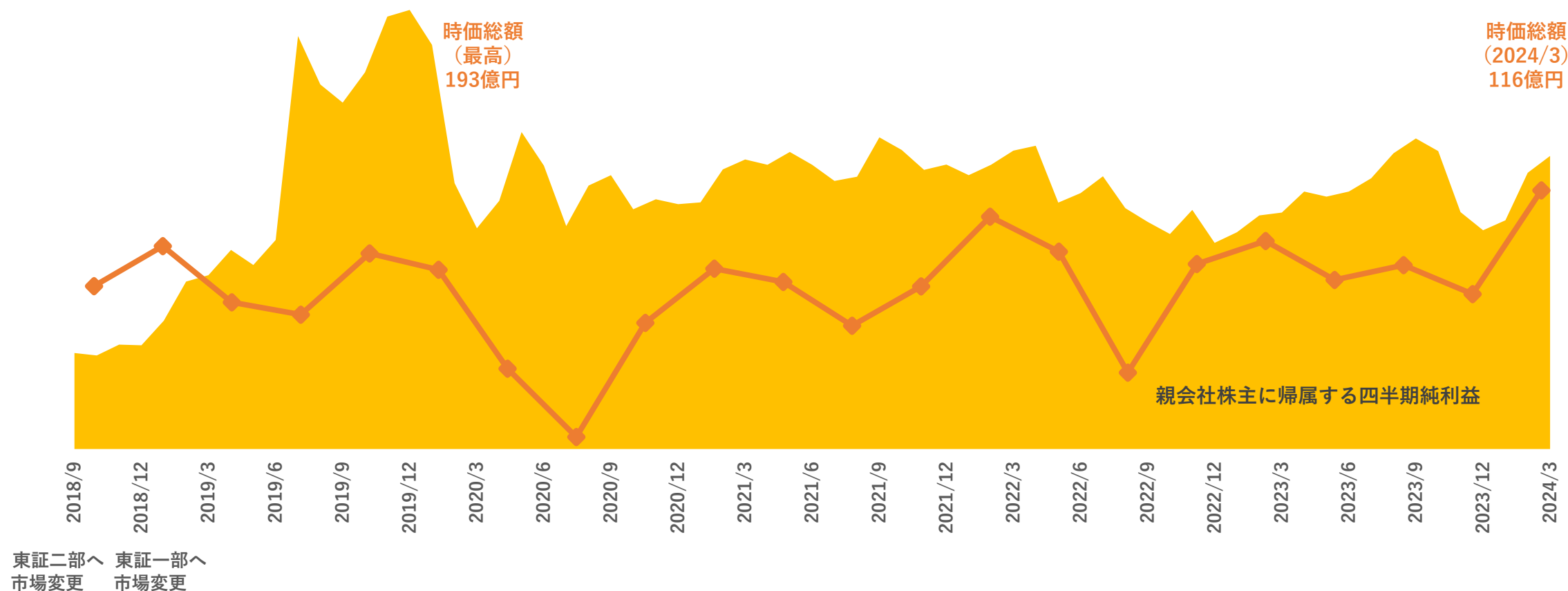


注： PBRは期末株価÷1株当たり純資産、PERは期末株価÷1株当たり当期純利益（実績）で算出

② 市場評価

- 時価総額は東証一部への市場変更後に増加、コロナ禍で減少した後は伸び悩む
- 通期業績は順調に推移するが、四半期の業績変動で株価が大きく動くなど、ボラティリティ抑制に課題

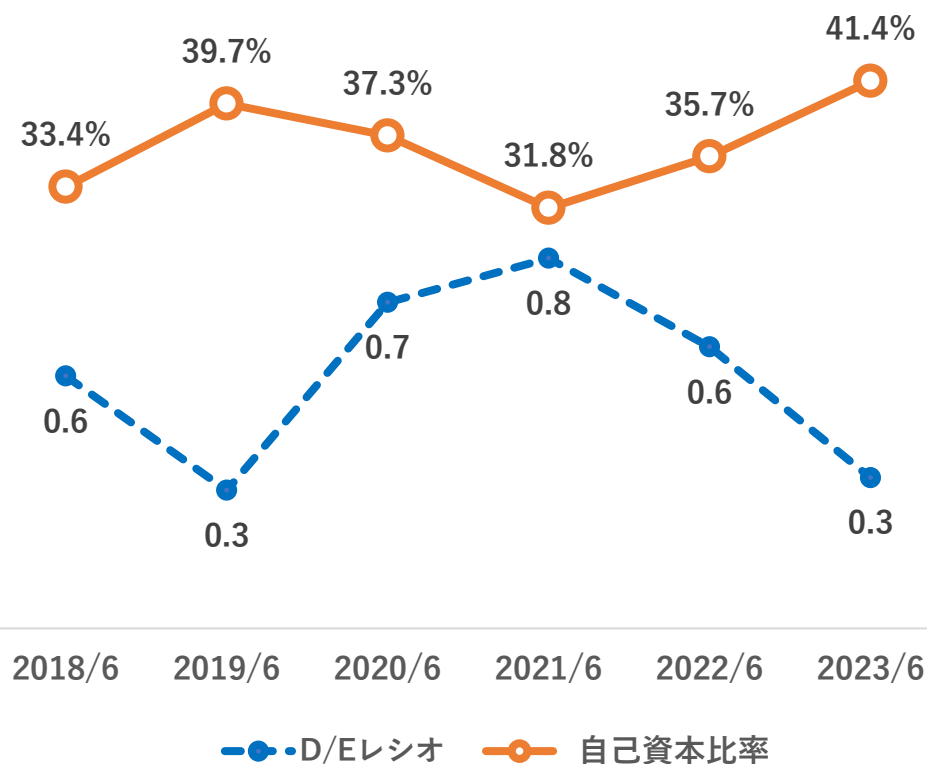
時価総額と親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



③ バランスシートの効率性

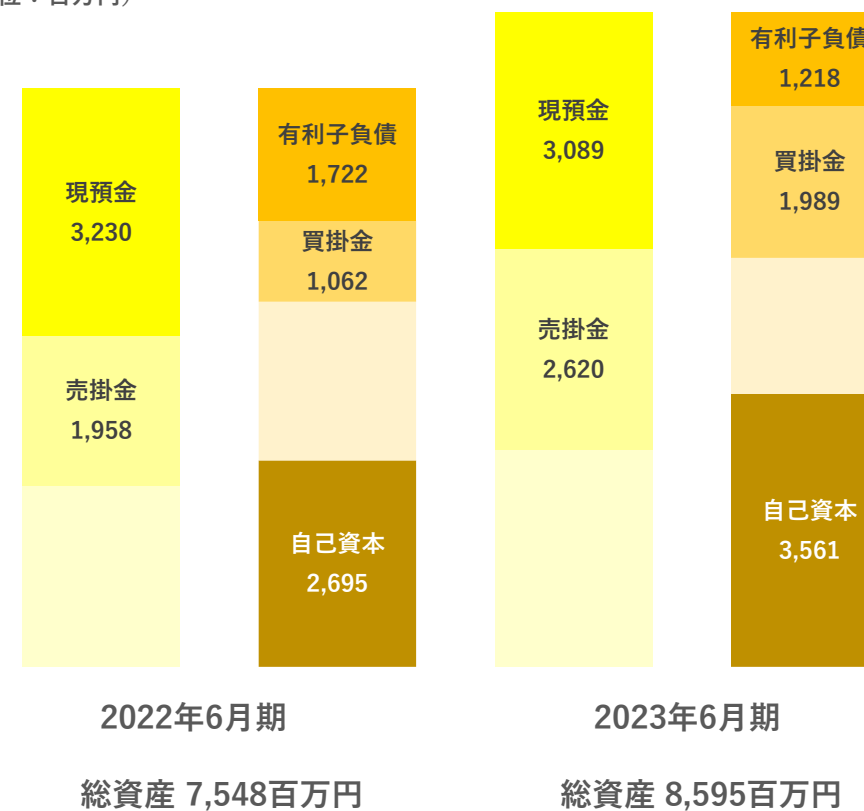
- 自己資本比率の上昇に伴い、財務レバレッジは低下
- 2024年6月期からの3か年は手元資金を中長期経営方針で示した成長投資に充当、事業成長と経営効率を追求

D/Eレシオと自己資本比率



BSの状況

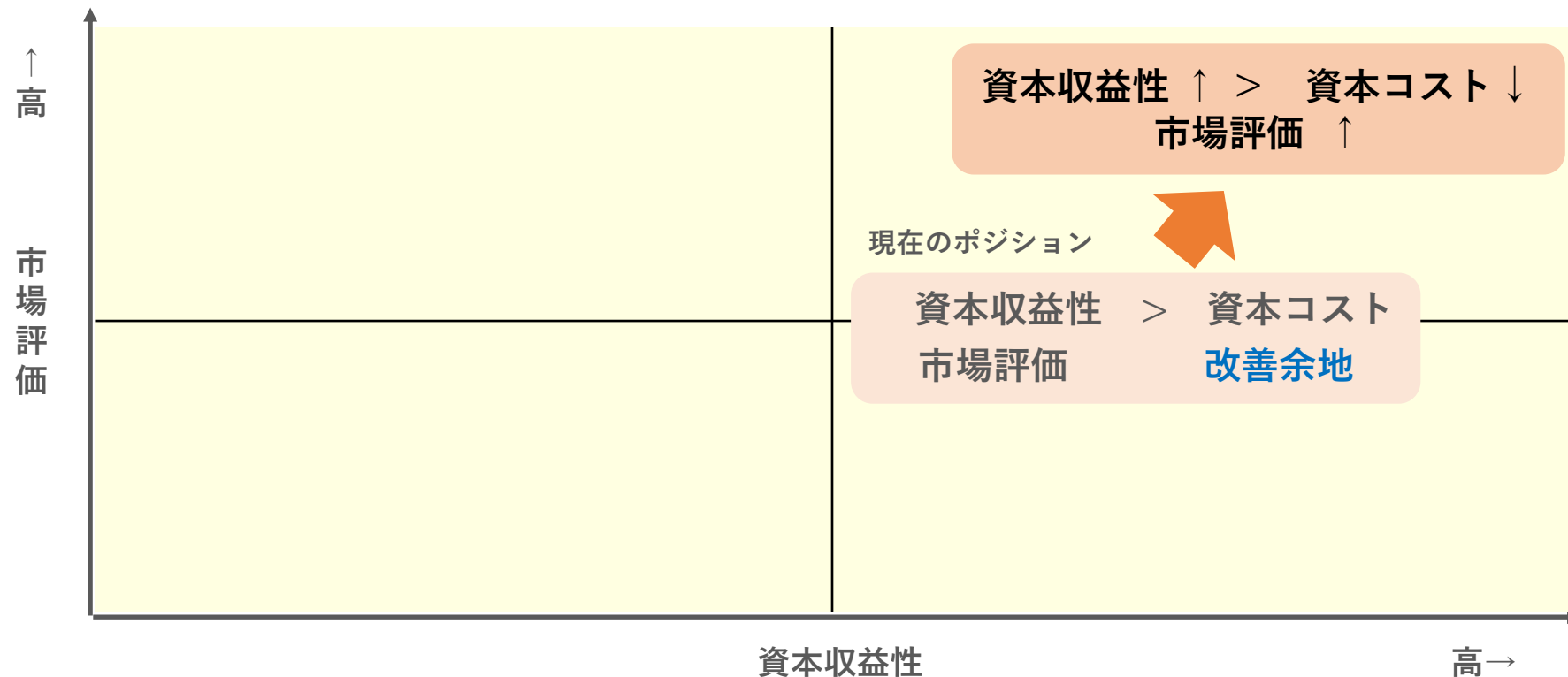
(金額単位：百万円)



④ 資本収益性と市場評価のマトリックス分析

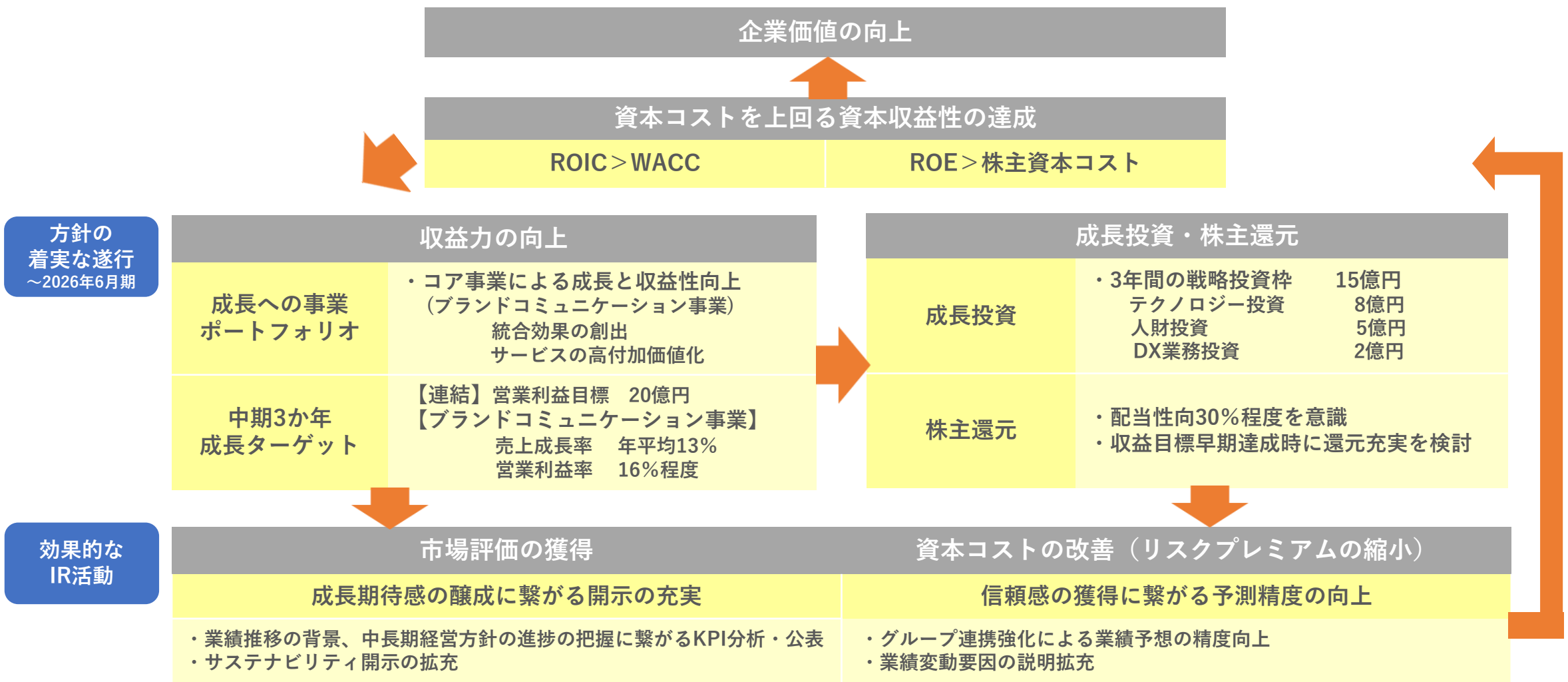
- 資本収益性は資本コストを上回り、PBRは1倍超を維持するも、業績改善局面の市場評価に課題
- 資本コストについても一層の改善余地あり、投資家の予測可能性を向上させ、リスクプレミアムの縮小を図る

- 【改善プロセス】
- ① 資本収益性の更なる向上 < 中長期経営方針の着実な遂行 >
 - ② 市場評価の獲得 < 成長期待感の醸成に繋がる開示の充実 >
 - ③ 資本コストの改善 < 信頼感の獲得に繋がる予測精度の向上 >



対応方針

- 資本収益性の更なる向上を前提に、市場評価の獲得と資本コストの改善に向けて、効果的なIR活動を推進

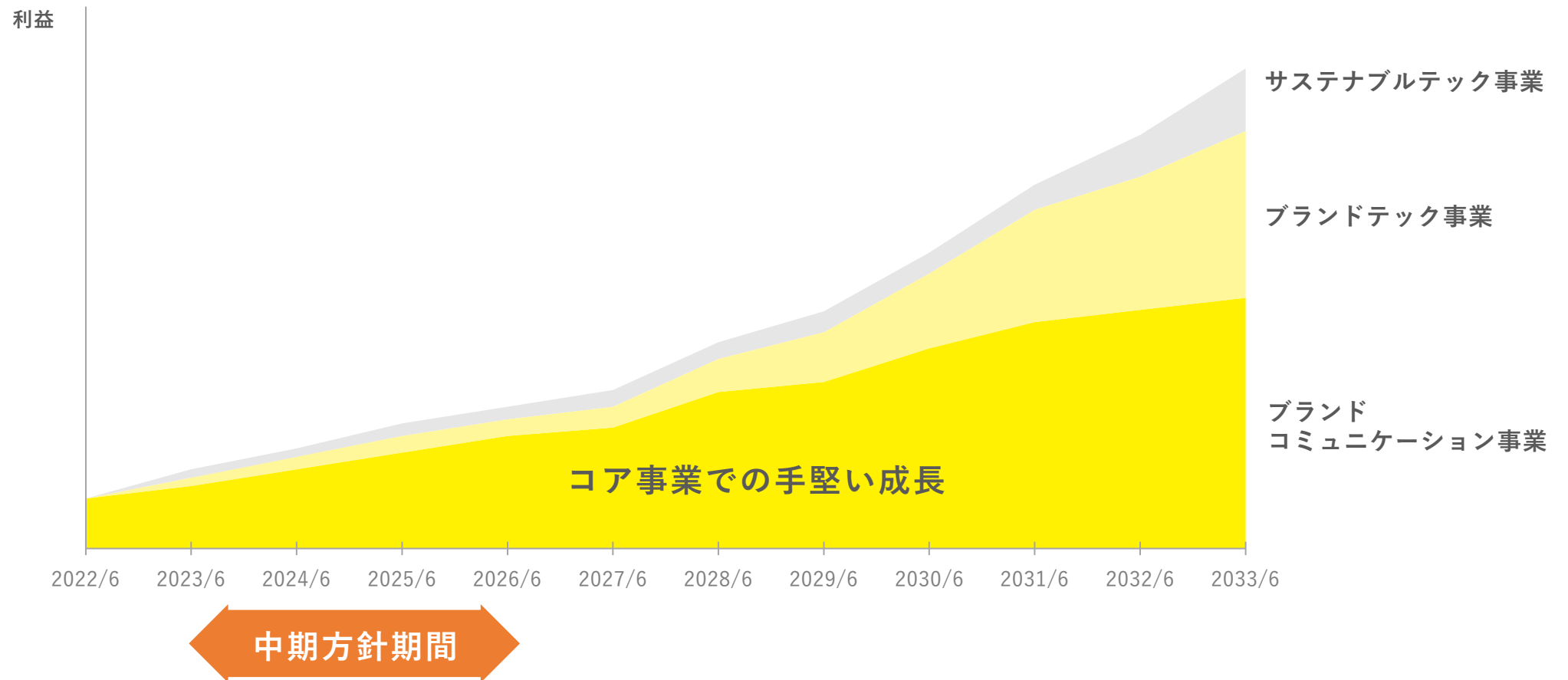


中長期の事業成長イメージ

成長に向けた戦略方針

方針の
着実な遂行

- 現中期方針期間においては、コア事業（ブランドコミュニケーション）での手堅い成長に注力
- コア事業周辺への戦略投資も行い、次期中期方針以降の新しい事業成長の柱として創造していく



中期3か年成長ターゲット

成長に向けた戦略方針

方針の
着実な遂行

- ブランドコミュニケーション事業で、売上成長と収益性向上の双方を狙う
- フードブランディング事業は、安定的に業績を維持・改善する方針
- 2026年6月期の連結営業利益目標を20億円に設定

ブランドコミュニケーション事業

売上成長率

営業利益率

連結営業利益

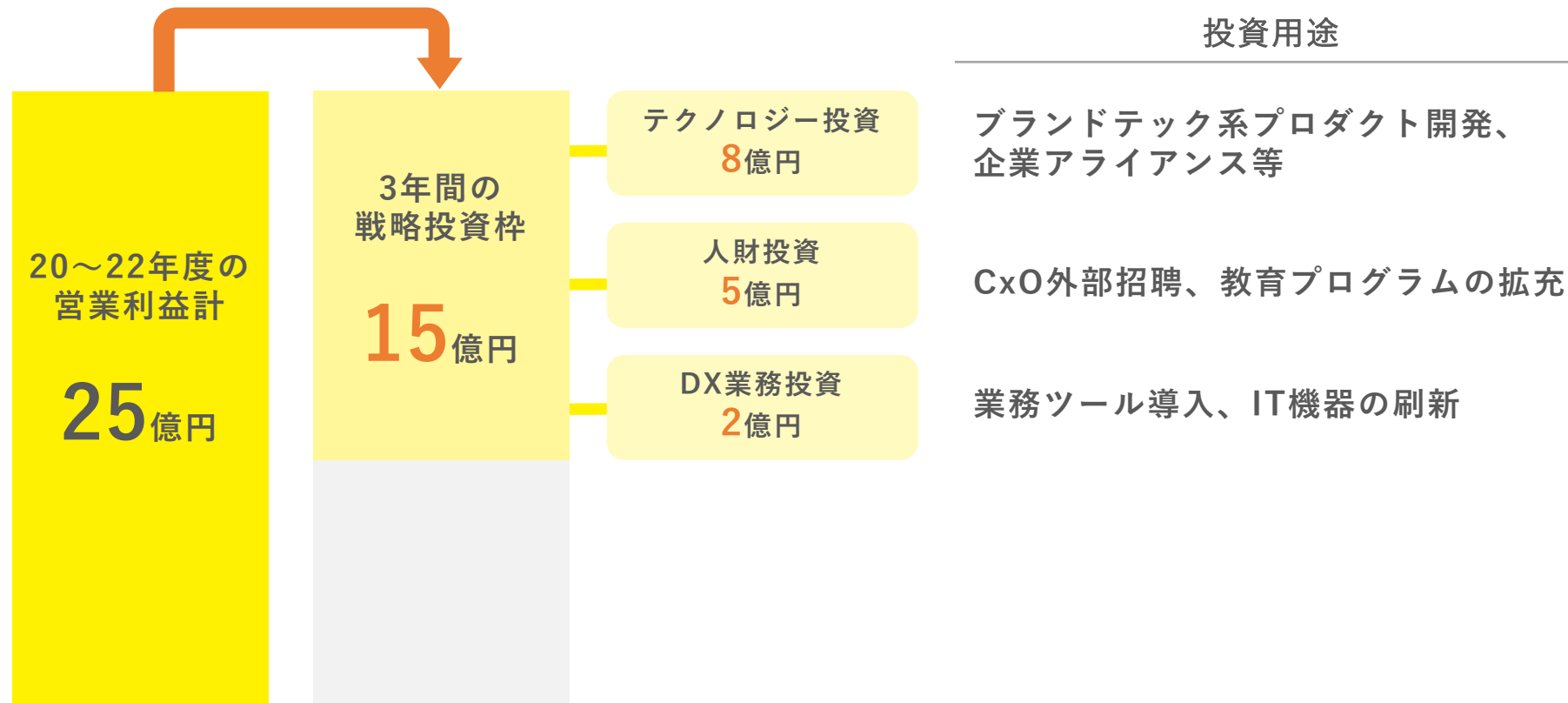
年平均 **13%****16%**程度**20**億円**12.9**億円
(2023年6月期実績)

成長への戦略投資

成長に向けた戦略方針

方針の
着実な遂行

- 前期までの3年間に創出した営業利益の6割に当たる15億円を戦略投資に充当
- テクノロジー投資、人財投資、DX投資を計画



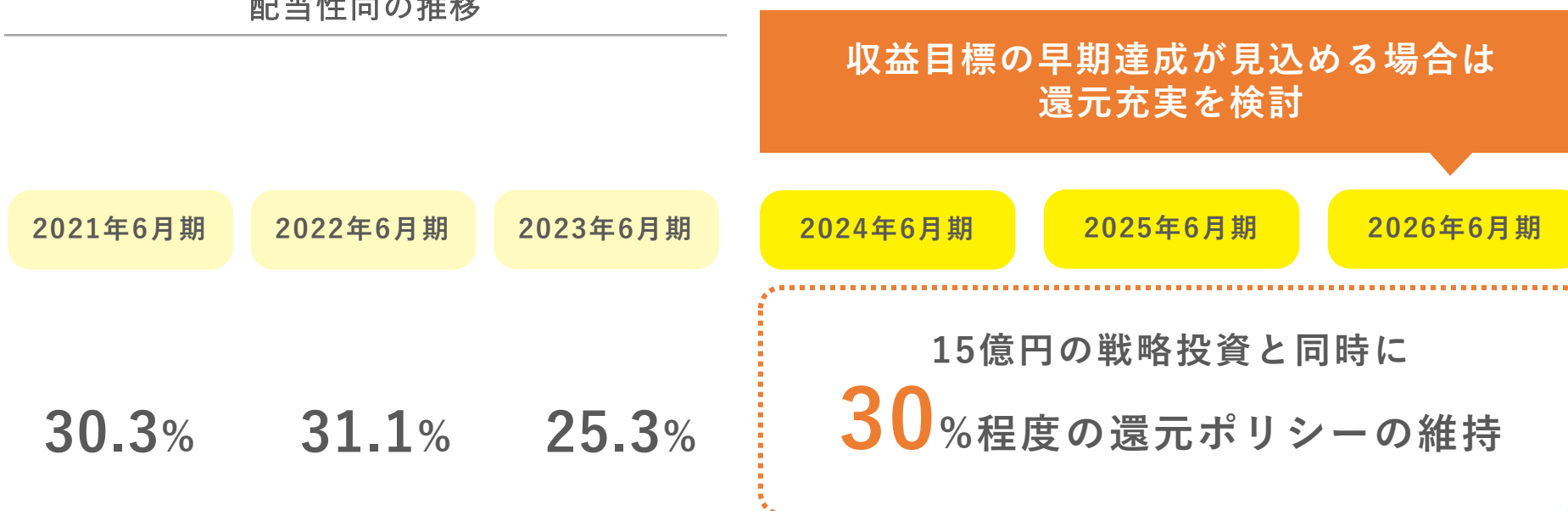
株主還元

成長に向けた戦略方針

方針の
着実な遂行

- 2024年6月期からの3か年で15億円の戦略投資を行うものの、配当性向30%程度を維持継続
- 収益目標の早期達成が見込める場合は、還元充実を検討
- 2024年6月期は配当性向32.1%を予想

配当性向の推移



効果的なIR活動の推進

- 2023年3月、流動性の改善に向けて認知度向上施策の追加を公表、平均売買代金は1.9倍に増加
- スタンダード市場移行後も同施策を継続、中長期戦略や業績の理解に繋がる開示や予測精度向上に注力

	活動内容	実施前	2023年3月17日開示* 実施状況（～2024年3月）	計画
株主還元の 更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> 配当による利益還元の充実 自己株式の取得 	1株当たり年間配当金 12円(2022/6)	継続 年間配当金 15円(2023/6) 中間配当金の実施(2024/3)	継続 年間配当金 20円(2024/6予想) 計画早期達成時の充実検討
対話の実施	<ul style="list-style-type: none"> 機関投資家との対話件数の増加 トップマネジメント参加の1on1の実施 	実施	継続 トップマネジメント参加の スモールミーティング、1on1実施	継続
流動性の 向上	<ul style="list-style-type: none"> 個人投資家向け説明会開催、説明動画配信 外部専門サービス活用による情報掲載・配信 <ul style="list-style-type: none"> 決算説明書き起こしの公開 専門メディアインタビューの配信 第三者機関によるレポートの配信 	—	説明会5回、動画配信1回実施 追加施策 3回実施 2回実施 2回実施	継続・拡充 <ul style="list-style-type: none"> 成長期待感の醸成に繋がる開示の充実 信頼感の獲得に繋がる予測精度の向上
開示情報の 充実	<ul style="list-style-type: none"> 決算補足説明資料の掲載内容拡充 英文開示対応 	—	追加施策 内容拡充・中長期経営方針公表 追加施策 決算短信、決算補足説明資料 定時株主総会招集通知	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ開示の拡充 継続
平均売買代金		17百万円 (2022年1-12月)	32百万円 (2023年1月-2024年3月)	維持・増加

注：*「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」（2023年3月17日開示）に記載した内容の実施状況

CHANGE THE WORLD.

たのしいさわぎで、世界を変える。

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、事業環境の変化等の様々な要因により、記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。

< 本件に関するお問い合わせ >

株式会社サニーサイドアップグループ 経営管理部経営管理グループ

TEL : 03-6894-2241 mail : keiki@ssu.co.jp